

第54回 技能五輪時計修理職種 課題 1

シチズン H50※※(コンプリート)



この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して、時計を駆動させるソーラーパワーウオッチです。

24時間表示や、1秒単位で60分まで計測できる、クロノグラフ機能等を搭載しています。

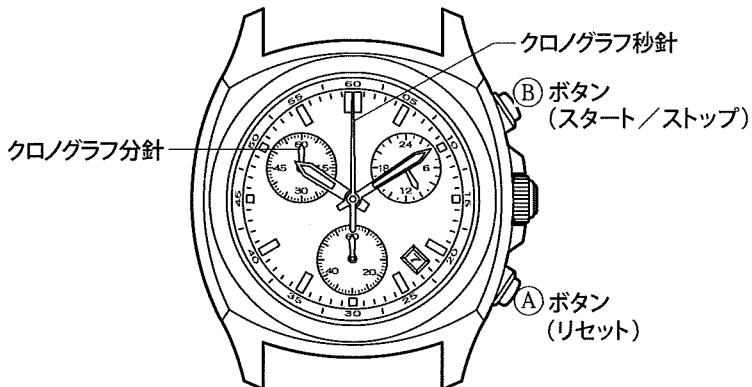
. 製品仕様

キャリバーナンバー	H50 M-00	
型式	アナログソーラーパワーウオッチ	
ムーブメントサイズ (mm)	26.0 × 22.6 × 4.53t	
時間精度	平均月差±15秒 (常温+5 ~ +35 携帯時)	
水晶振動子	32,768Hz	
使用IC	C/MOS-LSI 1個	
作動温度範囲	-10 ~ +60	
変換機	2極ステップモーター	
時間調整	市場での調整不可	
測定ゲート	10秒	
表示機能	時刻	24時間、時、分、秒
	カレンダー	日付
	クロノグラフ	1秒単位で最大59分59秒まで計測表示
付加機能		充電警告機能
		クイックスタート機能
		過充電防止機能
持続時間	<ul style="list-style-type: none"> ● フル充電後、充電しないで時計が停止するまで...約5ヶ月 (クロノグラフ等の使用頻度によって、持続時間が異なってきます) ● 2秒運針～時計が停止するまで...約5日 	
使用電池	二次電池	

上記製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

クロノグラフの使い方

クロノグラフは、1秒単位の計測で、最大59分59秒まで計測表示します。60分経過するとクロノグラフ各針は、自動的に12時位置に停止します。

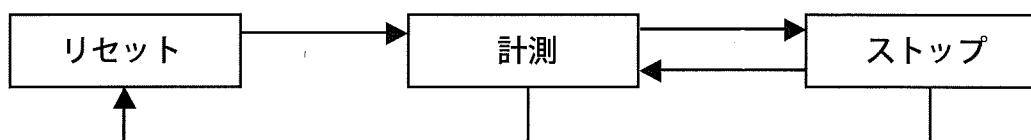


注意

- クロノグラフ計測中は、時計に強い衝撃を加えないでください。クロノグラフ計測中や、60分経過後自動的に停止した場合に、強い衝撃等が加わると、クロノグラフ分針がズレることがあります。その際はボタンを押し、12時位置にリセットしてからご使用ください。

【クロノグラフ計測】

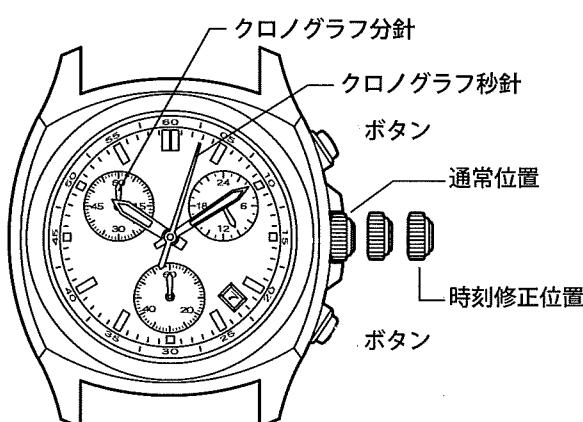
- ボタンを押すと、計測がスタートします。
 - ボタンを押すごとにスタート、ストップを繰り返します。
- ボタンを押すと0秒にリセットされます。



5. クロノグラフ秒針の0位置合わせ（電池交換をした後は）

電池交換後、クロノグラフをリセットした時に、クロノグラフ秒針が0秒位置に戻らない場合や、強い衝撃などでクロノグラフ秒針の位置がずれた場合は、次の手順でクロノグラフ秒針の0位置合わせを行ってください。りゅうずがねじロック式の場合は、ねじをゆるめてから操作を行ってください。

充電警告機能作動中（充電不足で秒針が2秒運針をする）は、0位置合わせはできません。十分充電し1秒運針をしていることを確認してから行ってください。



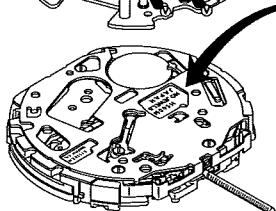
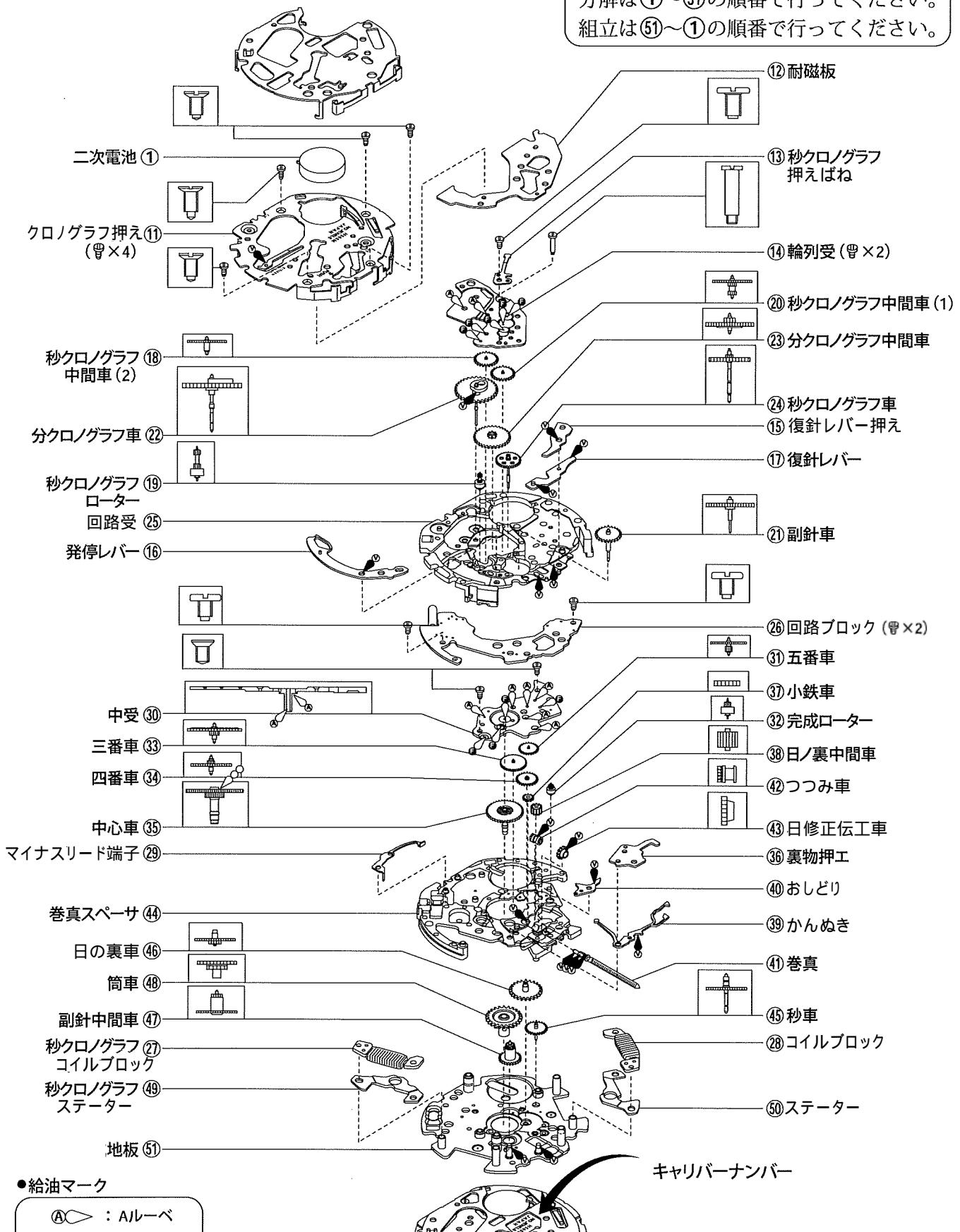
【クロノグラフ秒針0位置合わせ】

- りゅうずを時刻修正位置にします。
- ボタンを3秒以上押して離すと、クロノグラフ秒針の0位置修正状態になります。
ボタンを押して、クロノグラフ秒針の0位置を合わせてください。
 - ボタンを押すと、押す毎にクロノグラフ秒針が1秒ずつ正転（時計回り）します。
 - ボタンは、押し続けると、クロノグラフ秒針の早送りができます。

- 0位置合わせができたら時刻を合わせ直し、りゅうずを通常位置に戻してください。
- ボタンを押して、クロノグラフ分針が0位置にリセットされることを確認してください。

ムーブメントの分解・組立

分解は①～⑤の順番で行ってください。
組立は⑤～①の順番で行ってください。



機種番号 H50

